

地域のまちづくり施策に関する提案について

○ 提案の基本的な考え方

- ・ 多くの意見を集約した提案であること
- ・ 自分たちに「何ができるか」を常に意識すること
- ・ 10年後の理念と実現性を描くこと

○ 自治会議では、これまで2年ごとに、3回の提案を行ってきました

・ 第1回提案 平成21年2月

第1回提案を継承し発展させ、第2回及び第3回の提案を行いました

[特徴]

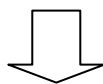
- ①まちづくりのテーマを漏れなく包括的に取り上げた
- ②10年後の地域の目標を掲げ、現状との開きを課題とした
- ③5W1H（いつ、誰が、何を、どこで、誰に、どうする）に基づき、実効性を確保した
- ④まちづくり協議会との連携、協働を念頭に置いた

・ 第2回提案 平成23年2月 「産業・経済・交通編」

- ・ 第3回提案 平成25年2月 「子育て・教育編」
「環境・景観・防災・上下水道編」
「健康・福祉編」

○ PDCA（計画⇒実施⇒検証・評価⇒改善・見直し）を繰り返すことが重要です

- ・ 提案の内容を着実に実現していくためには、進捗状況をチェックし、見直しを行っていく必要があります。



○ 第2回提案の「産業・経済交通編」を評価・検証し、見直しを行います

- ・ 前回の自治会議では、「主に地域団体等が3年後までに取り組む」としている9件の取り組みについて、グループ協議を行いました。
- ・ 第5回自治会議では、具体的に評価シートを使用し、取り組みの評価、今後の取り組み方針について、グループごとに協議しまとめます。
- ・ まず、評価・検証手法の共通理解を図るため、方策1の「地域農産物のブランド戦略・推進体制の確立」の取り組みについて、評価シートの作成、発表、意見交換の検証作業を最後まで行います。
- ・ 第5回～7回の自治会議において、9件の全ての取り組みについて評価・検証を行っていきます。
- ・ 次年度については、評価・検証を踏まえて、「産業・経済・交通編」の再構築を行っていく予定です。